

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日：令和 6 年 6 月 9 日 報告者：岩崎 卓識

行事種別	研究会	行事番号	240000488
開催日	令和 6 年 6 月 9 日（日）		
時 間	開 始	10 時 00 分	終 了 16 時 00 分
場 所	修文大学医療科学部臨床検査学科（11 号館 11101 講義室）		
テーマ	実際にやってみよう！寄生虫検査実技講習会！		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司 会	修文大学 医療科学部 岩崎 卓識		
講 師	北陸大学 医療保健学部 医療技術学科 松村 隆弘		
内 容	午前の講義（10：00～11：15）では、まず、検出された寄生虫卵や原虫を血球の大きさから判別する手順の説明がされた。次に寄生虫検査の基礎として、便の形状/色調から、検査に至る手順の解説がされ、具体的な糞便内の虫卵の検出法として直接塗抹法（カバーガラス薄層塗抹法・セロファン高層塗抹法）や遠沈法（MGL 法、AMSⅢ法・大島法）、浮遊法（シヨ糖遠心浮遊法・飽和食塩水浮遊法）の特徴、それぞれのメリットとデメリットの解説が行われた。さらに、午後からの実習の手順と、代表的な寄生虫検査である、ホルマリン・酢酸エチル法（MGL 法）の動画による解説と注意点、および簡易シヨ糖浮遊法の説明が行われた。 午後の実習（12：15～16：00）では、薄層塗抹標本作成から MGL 法、簡易シヨ糖浮遊法の実技が、講師の指導のもと参加者を中心に行われた。実技中は研究班の班員である実務員が適宜に指導を行い、参加者からの質問を受けながら進行した。 標本観察では、一般的な虫卵以外にも、あまり現場で見ることが無い原虫類の標本が多く提示され、参加者は各自で顕微鏡を用いながら、観察を行った。最後に、参加者に対して松村講師より、寄生虫の虫体や（トコジラミなどの）衛生動物の解説が行われた。 標本観察に用いられた検体は非常に貴重なものが多く、また実習についても参加者が現場にて活用できるような実践的な実習が行われたと考えられる。このような寄生虫の講演/研究会については、今後も定期的 to 実施することを検討したい。		
参加者	参加者総数：20 名（申込総数：20 名） 内訳：会員 19 名、県外会員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名		
共催、後援など	なし		

2022.10.12

活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日： 令和 6 年 7 月 15 日 報告者：服部 聡

行事種別	研究会		行事番号	240003593	
開催日	令和 6 年 7 月 14 日 (日)				
時 間	開 始	9 時 30 分		終 了	14 時 30 分
場 所	藤田医科大学 3 号館 (所在地 豊明市)				
テーマ	日当直で困らない尿沈渣の基礎				
生涯教育履修点数	専門教科 20 点				
司 会	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 新城市民病院		野村 勇介 服部 聡	技師 技師	
講 師	1. 血球の見方 2. 上皮細胞の見方 3. 円柱の見方 4. 結晶の見方		公立西知多総合病院 藤田医科大学岡崎医療センター JA 愛知厚生連 江南厚生病院 JA 愛知厚生連 渥美病院		太田 達也 山口 高明 和田 裕司 片山 タ子
内 容	講演 1：赤血球、白血球について、臨床的意義、形態的特徴、類似成分との鑑別法について多数の尿沈渣画像を提示し、詳しく解説していただいた。赤血球形態については症例を用いて疾患による形態の違いをより詳細に説明していただいた。 講演 2：基本的上皮細胞類、変性細胞・ウィルス感染細胞、異型細胞類について構成部位、臨床的意義、形態学的特徴、鏡検時の注意点、類似細胞との鑑別方法について多数の沈渣画像を提示し、分かりやすく解説していただいた。 講演 3：円柱についてその成り立ちから形成される 4 つの要素、細胞円柱や下流円柱の要素について講師自身の経験と先輩に言われたことを交えて、多数の尿沈渣画像を提示し、わかりやすく解説していただいた。特にわかりにくいガラス円柱の同定について、表を用いて実際に照らし合わせながら説明していただいた。また、円柱成分が多数出現した際のカウントについても説明していただいた。 講演 4：結晶成分について通常結晶、異常結晶、薬物結晶、結石にわけて貴重な写真や実際のレントゲン・CT 画像を提示し、わかりやすく解説していただいた。 講演の最後ということで、一般検査の技師としてどのようなことを考え、何を心がけて尿沈渣を行っているかについてもお話ししていただいた。				
参加者	総数：66 名（会員 66 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名、）・申込総数：66 名				
共催、後援など	なし				

活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日： 令和 6 年 11 月 18 日 報告者：岩崎 卓識

行事種別	基礎講座	行事番号	240012414
開催日	令和 6 年 11 月 17 日(日)		
時 間	開 始	9 時 00 分	終 了 16 時 30 分
場所・配信	修文大学 医療科学部 11 号館 (所在地 一宮市)		
テーマ	「脳脊髄液と尿沈渣の総復習！基本を確実に身に付けよう！」		
生涯教育履修点数	専門教科	20	点
司 会	修文大学医療科学部臨床検査学科 岩崎 卓識 技師		
講 師	【午前】講演 1：「脳脊髄液検査の基礎」 中部大学 生命健康科学部 生命医科学科 井上 千聖 講演 2：「RCPC」 浜松医科大学 医学部医学科 腫瘍病理学講座 准教授 酒井 康弘 【午後】1.尿沈渣鏡検実習 2.症例：尿沈渣における各種細胞の見方 担当：一般検査研究班班員		
内 容	午前は、講演 1「脳脊髄液検査の基礎」と講演 2「RCPC」を実施しました。 講演 1 では、脳脊髄液の生成から検査における臨床的意義、そして出現細胞の形態的特徴まで、豊富な画像を用いて詳しく解説していただきました。受講生からは、「大変わかりやすく、良い復習になった」との好評を得ました。 講演 2 では、昨年に引き続き酒井医師にご担当いただきました。臨床検査データの基礎的な見方から、検査ごとの解釈まで丁寧に手順を追って解説いただき、受講生は検査値の系統的な読み方を学ぶことができました。特に、時系列の変化を重視することで、生体内の変化を捉えることができるという点が、受講生にとって大きな学びとなったようで「検査値の系統的な読み方について勉強でき、今後の業務で活かしたい」との意見がありました。 午後は、尿沈渣鏡検の実習を行いました。尿路感染症や異型細胞など、代表的な症例を提示し、受講生に実際に顕微鏡で観察してもらうことで、尿沈渣検査の重要性を深く理解してもらいました。また、班員がマンツーマンに近い形で指導することで、受講生はより実践的な知識を習得できたと考えています。受講生からは、「実際の標本を見ることができ、大変勉強になった」との声を多数いただきました。 今回の反省点としては、班分けの際に経験年数を考慮すべきだったという意見が班員からありました。次回以降は、受講生の経験年数やレベルに合わせて班分けを行い、より効果的な実習を実施できるように改善したいと考えます。 以上		

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）

参加者	合計：51 名（会員 32 名、県外会員 2 名、講師 2 名、実務委員 15 名、 非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名） 事前参加申込数：35 名 （体調不良にて受講生 1 名欠席）
共催、後援など	なし

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）

活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日： 令和 6 年 12 月 16 日 報告者：前田 佳成

行事種別	講演会	行事番号	240017712
開催日	令和 6 年 12 月 14 日(土)		
時 間	開 始	15 時 00 分	終 了 17 時 00 分
場所・配信	愛臨技事務所（所在地 名古屋市中村区）愛臨技事務所・ライブ配信		
テーマ	「腎炎とその診断-腎炎を中心に-」		
生涯教育履修点数	専門教科	20	点
司 会	小牧市民病院診療技術局臨床検査科 前田 佳成 技師 修文大学医療科学部臨床検査学科 岩崎 卓識 技師		
講 師	講演 1 15：00～16：00 「腎炎についての基礎知識」 藤田医科大学ばんだね病院 進藤 龍太郎 講演 2 16：00～17：00 「腎生検の基礎から診断と治療」 名古屋大学医学部附属病院 腎臓内科 助教 前田 佳哉輔		
内 容	腎炎は腎臓の糸球体を中心に炎症が起こる病気の総称であるが、その種類は多岐にわたり、理解が難しい面もあるが、一般検査技師が尿沈渣から得られた情報から腎炎を疑った場合に病態を推測する上で重要な情報となるためその理解を目的として講習会を開催した。 講演 1 では「腎炎についての基礎知識」という内容で臨床検査技師が知っておくべき腎炎に関する知識を解説いただいた。糸球体病変を中心とした腎炎の診断名には症候診断名、組織診断名といった形式で診断されるが症状や病変によってどのような背景で各診断名が決められるのかを講演いただき、基本的な腎炎病態の知識を得ることができた。 講演 2 では「腎生検の基礎から診断と治療」という内容で腎疾患の診断における腎生検について、重要な役割や治療への影響などの最新の知見を解説いただいた。講演 1 で解説いただいた腎生検が実際にどのように実施されているのか説明された。腎生検で得られた組織の見方を標本が適切であるかといった基本的な内容から組織学的な所見について、実際の写真を用いて日ごろ一般検査だけを担っている技師では目にする機会のない情報を提示いただいた。また実際の症例からその腎生検の結果をご紹介いただき、より腎生検から得られる情報について知見を得ることができた。		
参加者	合計：104 名（会員 37 名、県外会員 62 名、講師 2 名、実務委員 3 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）事前参加申込数：206 名		
共催、後援など	なし		

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）

活動報告書

所属：一般検査研究班 提出日： 令和 7 年 2 月 25 日 報告者：望月 里恵

行事種別	講演会	行事番号	240023955	
開催日	令和 7 年 2 月 8 日(土) ～2 月 21 日 (金)			
時 間	開 始	令和 7 年 2 月 8 日	終 了	令和 7 年 2 月 21 日
場所・配信	オンデマンド配信			
テーマ	愛臨技精度管理事業 令和 6 年度一般検査研究班精度管理報告会			
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点			
司 会	成田記念病院 望月 里恵 技師			
講 師	1.「令和 6 年度一般検査研究班精度管理報告会」 成田記念病院 望月 里恵 修文大学 医療科学部 蜂須賀 大輔 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 野村 勇介 2.「AUTION EYE AI-4510 における尿沈渣検査への取り組み」 アークレイマーケティング株式会社学術推進チーム 澄川 瑞季 司 会：成田記念病院 望月 里恵			
内 容	愛臨技精度管理事業である令和 6 年度一般検査部門の精度管理報告会と尿検査に関する講演をオンデマンド配信で開催しました。 講演 1 は令和 6 年度一般検査研究班精度管理の結果報告と解説でした。尿定性検査、便潜血検査、フォトサーベイすべてにおいておおむね良好な結果でした。尿定性の回答に関しては対応表を用いて問題なく行えていましたが、陰性判定の半定量値は混乱を招いていました。フォトサーベイは教育問題を含め、全ての設問で正解率 80%以上でした。フォトサーベイの解説はフィードバックして理解を深めてもらうために、各設問に対して写真を提示しながら、鑑別のポイントを中心として行いました。 講演 2 は尿検査の基礎とトラブルシューティングおよび AUTION EYE AI-4510 における尿沈渣検査への取り組みについての講演でした。尿定性検査の基礎として尿の取り扱いや試験紙の特徴、注意点、対処方法など事例を用いての解説と精度管理の基礎的な内容や、尿自動分析装置 AUTION EYE AI-4510 の特徴や尿沈渣検査における運用方法についての解説もあり、尿検査の精度を保持するにあたり参考となる内容でした。 開催後のアンケートにおいて、多くの方が今回の講演が日常業務の参考になりそうとの感想でした。フォトサーベイは分かりやすい解説であったというだけでなく、時間をかけて詳しく解説にて欲しいとの意見を多くいただきました。			
参加者	合計：89 名（会員 84 名、県外会員 0 名、講師 3 名、実務委員 1 名、非会員 0 名、賛助会員 1 名、学生 0 名、その他 0 名）事前参加申込数：96 名			
共催、後援など	なし			

合計：現地開催（講師・実務委員・参加者）、
ライブ・オンデマンド配信（講師・実務委員・レポート提出者）